

諫早市教育委員会議事録

平成30年第10回（9月定例）

平成30年第10回（9月定例）教育委員会

1 日 時 平成30年9月25日（水） 14時00分～15時45分

2 場 所 諫早市役所 7階 7-1会議室

3 出席者 教育長 西村 暢彦
委 員 緒方 正親
委 員 秀島 はるみ
委 員 大石 竜基
委 員 宮本 峻光

4 会議に出席した事務職員

教育次長	井上 良二
教育総務課長	田島 正孝
学校教育課長	福元 英典
生涯学習課長	藤山 誠治
文化振興課長	吉谷 成彦
諫早図書館副館長	近藤 貞俊

5 議題

報告第8号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成29年度諫早市一般会計歳入歳出決算の認定について」中、12款教育費））

報告第9号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）

議事録署名人の指名

緒方委員と宮本委員を議事録署名人に指名

議事の非公開

報告第9号は、人事案件であるため非公開

議事録の承認

- 平成30年第9回（8月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

1 教育長の報告

○小中学校の2学期開始について

9月3日に2学期が始まった。始業式の日、全学校の児童生徒の登校状況等を例年通りに報告を受けたが、懸念される生徒指導上の問題はなかった。

また、暑さ対策について8月下旬に学校宛に通知し、対策の徹底を促した。

○9月議会について

現在、9月議会が開かれている。9月5日から11日までの5日間で25人から一般質問があり、そのうち14人から教育委員会への質問があった。

質問の内容については、エアコンの設置について5人の議員から質問があった。エアコンについては、今年度4月に示された学校環境衛生基準の変更により、教室の温度が30度以上10度以下は望ましくないとされていたが、上が28度、下が17度というふうを示された。この基準を尊重すべく検討していることを6月議会で答弁していた。また、昨年以上の猛暑だったことから、エアコンの設置に積極的に検討を進めていたところであり、今回の議会では、市長は可及的速やかに設置を進めていくと答弁したところである。なお、

設置するのは普通教室と使用頻度の高い特別教室を想定しているといったことを答弁した。

ほかに、中学校の文化的クラブへの支援について、ブロック塀の対応状況について、学校教育に関して登下校の安全対策、熱中症対策、カバンの重さへの対応状況、英語教育、学力テスト等についての質問があった。

会期延長により、昨年度の決算についての審議が行われ、10月5日に閉会の予定である。

○今後の予定について

9月30日（日曜日）に8小学校で運動会。10月7日（日曜日）に2幼稚園で運動会。10月2日（火曜日）に中総体の駅伝大会が行われる予定。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

登下校時の荷物の重さについての質問についてはどのような答弁をされたのか。

[教育長]

重さについての質問もあったが、実際に調査をしたのかとの質問でもあった。一斉に調査はしていないが、いくつかの学校に平均的にどれくらいの重さか教えてもらった。文科省からの通知は、質問があった日に届いた。それには調査をなささいということは書いていないが、配慮することと書かれている。そのことについては、小学校においては、担任及び同学年の先生と相談のもとで対応してほしいし、中学校においては、担当教科の先生とすり合わせ担任が責任をもって指導することと、教科毎の判断で行われているといったことを説明し、今回このような通知が来たので学校に対して周知すると答弁した。重くなってきた経過は、教科書がB5版からA4版に変わったことにもなっています。すべてがA版に変わったことや、10年前より指導内容が増えているといったことを説明している。

[委員]

新学習指導要領についての質問が出ているが、道徳の評価について学校で何か問題はあっていないか。先生たちが困っているとか。

[教育長]

議会の中ではそういった質問はあっていないが、英語教育についての内容であったので、道徳について答弁することはなかった。

[学校教育課長]

小学校が今年度から、中学校が来年度からということで、特に今年度は、中学校からの指導の要請の中に、道徳の評価はどうしたらいいのかというお尋ねが多く、それに答えるように学校訪問をして指導しているところである。小中学校とも同じ考え方でということで、価値の押し付けや価値をどの程度理

解したかではなく、その子自身がどのように変容したかを長いスパンで長所を見るような好意的なとらえ方をしてほしいということで、特に小学校は1年間を通して3学期に通知表で評価しようというふうに、試行的段階ではあるが取り組んでいる。

2 教育次長の報告

○平成29年度一般会計歳出決算状況について

○平成29年度諫早市奨学金貸付基金の運用状況について

《教育次長の報告に対する質問・意見》

[委員]

奨学金をもらった人が破産したとか社会問題になったりするが、諫早市の状況は、奨学生が後々苦労しているとか自己破産に至ったとか、或いは滞納がずっと続いてとか、困った状況はないか。猶予者もいるようだが。

[教育次長]

猶予は、まだ大学とか在学中で返済ができないので償還を猶予しているものであって、経済的に困っているのが猶予しているものではない。卒業されて返済がちょっと苦しいといったケースでは、分割をお願いするとか、繰り返し文書で通知し、家庭訪問するなどして、次の奨学生の財源となるので、回収をこまめにしているところ。破産などといった事例はない。

[委員]

猶予願を出したら、2年後から返済を始めるとか分割の割合を少なくするとかできるのか。

[教育次長]

猶予制度は、学生なので償還自体を待つといったもの。できるだけ分割してでも支払ってもらおうようお願いしている。

[委員]

実質的な未払いの状況になっていたり、返済不可能と予測されたりするような人は何%ぐらいいるのか、どれくらい溜まっているのかといった質問ではないのか。

[教育次長]

1回も払っていないという人はいない。遅れている人は何人かいるが、全く反応がないといった人はいない。

《 議 事 》

- 1 報告第8号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「平成29年度諫早市一般会計歳入歳出決算の認定について」中、12款教育費））

教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、文化振興課長 説明

[委員]

少年相談指導事業について、少年相談員や専門家などとの文言があるが、専門家とはどういった方か。

[生涯学習課長]

専門家は、精神科医、小児科医、臨床心理士、カウンセリング、大学名誉教授といった方々である。

[委員]

浜教育文化事業について、大会激励金の内容と主な目的はどういうものか。

[学校教育課長]

文化のコンクール等で九州大会に出場する子どもたちについて5,000円、全国大会に出場する子どもたちについて10,000円を激励の意味で支給するもの。

[委員]

スポーツ大会の奨励金の文化部門といったとらえ方だと思うが、スポーツは本人が行くが、こういったものは作品だけが行くのではないか。

[学校教育課長]

本人が行くことについて支給している。

[委員]

文化財保護費の中の賃金の臨時傭人料とはどういった方か。

[文化振興課長]

発掘した土器などを、セメダインとかでくっつけて完成させる作業だとか、土器に発掘年などのナンバーリングをしてデータにするなどの作業をするための臨時雇用に係る賃金である。

[委員]

ブックスタート事業について、ブックスタートパック1,059セットは、対象者全員分か。

[諫早図書館副館長]

健診に見えられた方全員分である。

[委員]

利用状況はわかるか。

[諫早図書館副館長]

非常に好評だと伺っている。

[委員]

好評だとされているのは全体の何%いるとか何人いるとかは分かるか。

[諫早図書館副館長]

数値的なものについては把握していないが、もともとの趣旨は、読書の楽しみとか親子の信頼関係を醸成するといったことで行っており、引き続き継続していきたい。

[委員]

ぜひ継続してもらいたいと思っている。小さな子供のうちに親子関係を通じて対人関係、コミュニケーションを学ばないと、後になって学ぼうとすると難しい。

少年相談指導事業について、適応指導教室児童生徒数25人で、学校復帰が7人というのは、復帰できなかった子はこの差の18人ということか。

[学校教育課長]

学校復帰7人というのは1年生、2年生、高校進学5人というのが3年生で、実際復帰できたのは7+5の12人ととらえてもらいたい。少年センターの所長に聞いたところ、昨年度、特に中学3年生の子どもたちが、何とかすべて高校進学でき、1年生、2年生は継続もいるが、長い目で見ると中学校の出口を保障できたのはよかったということである。

[教育長]

不登校の子どもについては、通級教室に通うようになるまでが大変な段階であるので、これでも大きな進行であるということにとらえたい。

[委員]

学校図書館のパソコンは校務用パソコンの括りになるのか。システム「文籍（モンジャック）」は継続して使うことになるのか。

[学校教育課長]

決算とは離れるが、今年度、新しいソフトとして2社の業者から選んでいる。「文籍（モンジャック）」のデータをそのまま移行できるようにしたい。それに合わせてパソコンは、使わなくなった校務用パソコンを回すような形をとっている。来年度の予算になるのではっきりしたことは言えないが、方向性としては、新しいソフトを入れてスムーズな貸し出し作業に入りたいと計画している。

[委員]

スポーツレクリエーションの振興の中で、個人の名前が付いている事業がいくつかあるが、全額市の予算なのか、各個人の基金というのがあって、それプラス市の予算なのか。

[学校教育課長]

基金があり、財源は全額基金から繰り入れている。

[委員]

森山図書館の火災復旧事業について、雷対策はどのようにされたのか。

[諫早図書館副館長]

火災に伴う復旧工事に加えて、雷対策として新たに避雷針を設置する工事を行っている。

[委員]

避雷針は、雷を呼び込んで逃がすような従来の方法か。

[諫早図書館副館長]

そのとおり。建物の周りに地中に逃げるような避雷帯を設けている。

[委員]

雷は、雷雲のマイナス電子が下降し、地面の方からプラス電子がでてきて迎え放電というのがありそれに飛んでくる。地面はプラスだから、絶縁体を置いてその上にマイナス電子を放電するような仕組みを作っておくと雷は落ちない。一番高いところから72%は落雷しない。落雷させたくない施設などはすべてそれをしている。

了承

《教育総務課長の報告》

○平成30年度長崎県市町村教育委員会研究大会について

《文化振興課長の報告》

○文化財の指定に関する報告について

《諫早図書館副館長の報告》

○第3次子ども読書諫早プランについて

《非公開議事》

- 1 報告第9号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱について）
生涯学習課長 説明
削除
了承

その他

教育総務課長

○定例教育委員会の日程について説明

15時45分閉会